

ファッション文化専門学校DOREME 実務経験のある教員等による授業科目一覧

学科名	ファッションビジネス学科
コース名	ファッションアドバイザー専攻

授業科目	1年次		2年次		実務経験者 科目時間
	単位 時間数	実務経験 教員	単位 時間数	実務経験 教員	
オープン実習	100	○	140	○	240
服飾造形	160	○	40	○	200
マーチャンダイジング	60	○			60
ゼミナール	80	○	200	○	280
アドバイザーワーク	20	○			20
ショッププロデュース			40	○	40
ショップコーディネート			40	○	40
アイテム企画			40	○	40
F.コーディネーション	40	○			40
F. コーディネーションB	20				
デザイン画	40	○	40	○	80
造形デザイン	40				
服飾美学	40	○			40
色彩学	40	○			40
ファッション販売	40	○	60	○	100
ファッションビジネス検定	40	○	40	○	80
ショップVMD	40	○	20	○	60
パソコンワーク	60		160		
接客英語	20	○			20
キャリア開発			20	○	20
ワーク			40		
卒業制作			40	○	40
計	840		920		1440

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	1
コース名	ファッションアドバイザー	単 位	10
科目名	オープン実習	授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	各学科担当者、講師		(必修) 選択
授業の到達目標 及びテーマ	外部講師を招いての特別講義で社会のニーズと専門知識を学ぶ。学生個々やグループでの作品制作を通じて各自の個性を伸ばし、協調性を養う。学外実習や見学と通じ社会のしくみや繋がりを経験する。		
授業の概要	学外講師を招いての特別講義・ワークショップ 学外実習のための準備と制作 企業や文化施設、展示会等の見学、実習 (株)アングローバル プレス、日本毛皮教会理事、ミシンメーカー営業、(株)ユニクロ、(株)三越伊勢丹ホールディングス 人事部、(株)AZOTH代表、Ana Dapuzzoデザイナー、Hanaemori Manuscritデザイナー、		
授業計画	前期	4月	対面式練習(2年) キャリア開発(2年) 校内企業説明会 コミュニケーション(1年)
		5月	ミシン・ロックミシン講習(1年) 特別教養講座(毛皮)(2年)
		6月	フリーマーケット実習(2年) 東京研修旅行(2年) 卒業生による特別講義Ⅰ
		7月	学校見学会用ファッションショー準備と制作 デザイン研究(デザイン造形学科)
		8月	アートフラワー(デザイン造形学科)
		9月	ファッションセミナー 企業研修(ファッションビジネス学科、アーツ&クラフト学科)
	後期	10月	
		11月	卒業生による特別講義Ⅱ
		12月	フォーマルファッション講座(2・3年)
		1月	ファッションイベント準備と制作
		2月	ファッションイベント本番
		3月	キャリア開発(1年)
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席状況 90% 課題(レポート等) 提出状況 10%		

学科名	ファッションビジネス	履修年次	1
コース名	ファッションアドバイザー	単 位	16
科目名	服飾造形	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	阿部 瑠璃子	必修	選択
授業の到達目標 及びテーマ	ミシン、ロックミシンをひとりでセッティングできる。 素材とデザインの間係を考えられるように。		
授業の概要	前期は、部分縫い、制作を通して造形の基礎を学ぶ。 後期はゴムパンツ、ベレー帽制作、進級制作。 宮城ドレスメーカー専門学校にて教員を経験したのち、総合学園ヒューマンアカデミー(株)にて非常勤講師として縫製を教授していた講師が担当する。		
授業計画	前期	4月	用具の説明、使い方、手縫い
		5月	ミシン、ロックミシン 基礎縫い、ピンクッション、トートバッグ、シャツ制作①
		6月	ミシン、ロックミシン 基礎縫い、ピンクッション、トートバッグ、シャツ制作②
		7月	ミシン、ロックミシン 基礎縫い、ピンクッション、トートバッグ、シャツ制作③
		8月	
	後期	9月	まつり、コンシールファスナー 部分縫い(パンツのファスナー、ポケット)
		10月	
		11月	ゴムパンツ、ベレー帽制作 進級制作①
		12月	ゴムパンツ、ベレー帽制作 進級制作②
		1月	ゴムパンツ、ベレー帽制作 進級制作③
		2月	進級制作④
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題、実技60% 出席率20% 授業態度20%		

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	1
コース名	ファッションアドバイザー	単 位	6
科目名	マーチャンダイジング	授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	菅野 敦子		(必修) 選択

授業の到達目標 及びテーマ	アパレル産業の業界知識、トレンドや店舗情報、仕入、商品構成などの視点から、ショップ、ブランドの在り方を探る
授業の概要	アパレルの川上～川下の流れを掴み、各業態の実状を学ぶ <div style="background-color: yellow; padding: 5px; border: 1px solid black; margin-top: 10px;"> 銀座三愛(現株Ai)にて商品企画、マーチャンダイザーを担当。以後当校にて教員を務め、現在校長として各授業を担当する。 </div>

授業計画	前 期	4月	ファッション業界の仕組み
		5月	ファッションマーケティング知識
		6月	ショップリサーチ グループごとにテーマを決めてマップ制作
		7月	プレゼンテーション 夏季課題(東コレ研究)
		8月	
		9月	企業実習(オリジナルTシャツ作り)
	後 期	10月	オリジナルTシャツ商品企画 イメージマップ制作
		11月	Tシャツデザイン(テーマ、コンセプトからのデザイン発想)
		12月	プレゼンテーションボード制作
		1月	プレゼンテーション
		2月	Tシャツ発注 モチーフ作り
		3月	

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率25% 課題25% 授業態度25% 実技25%

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	1
コース名	ファッションアドバイザー	単 位	8
科目名	ゼミナール	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	菅野 敦子		必修 選択
授業の到達目標 及びテーマ	自己表現からの売れる商品への付加価値の創出		
授業の概要	企画トレーニングと自己理解の追求 <div style="background-color: yellow; padding: 5px; border: 1px solid black;"> 銀座三愛(元株AI)にて雑貨の商品企画、マーチャンダイザーを担当。以後当校にて教員を務め、現在校長として各授業を担当する。 </div>		
授業計画	前 期	4月	
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	
	後 期	10月	オリジナルTシャツ商品企画 イメージマップ制作
		11月	Tシャツデザイン テーマ、コンセプトからのデザイン発想
		12月	プレゼンテーションボード制作 プレゼンテーション実践
		1月	自己分析 進級制作 テーマ決定
		2月	進級制作
		3月	進級制作
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率25% 課題25% 授業態度25% 実技25%		

学科名	ファッションビジネス	履修年次	1
コース名	ファッションアドバイザー	単 位	2
科目名	アドバイザーワーク	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	菅野 麻那		必修 選択
授業の到達目標 及びテーマ	コミュニケーション能力の向上を目指し、学内での良好な人間関係を作るサポートをすると共に、自己研究・グループワークをすることで、専門学校生としての自覚を持たせる		
授業の概要	自己研究やグループワークのアクティビティをゲーム方式で行う 更にプレゼンテーションのコツを学び、人前での上手な話し方を身につける (株)ユニクロ、三越伊勢丹ホールディングス(株)にて人材育成を担当した教員がコミュニケーション能力の向上を目指し授業を行う。		
授業計画	前期	4月	コミュニケーションカード(アドラー心理学) 自己分析とプレゼンテーション(メラビアンの法則)
		5月	グループワーク① バスは待ってくれない、NASAゲーム
		6月	グループワーク② パスタゲーム、グループディスカッション
		7月	コミュニケーション能力とは
		8月	
		9月	プレゼンテーション練習
		10月	
	後期	11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率70% プレゼンテーションテクニック30%		

学科名	ファッションビジネス	履修年次	1
コース名	ファッションアドバイザー	単 位	4
科目名	ファッションコーディネート	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	菅野 敦子		必修 選択
授業の到達目標 及びテーマ	ファッションに必要なコンセプトメイキングツールとしての 要素の基礎を学ぶ		
授業の概要	多種多様な雑誌を利用し、マップ作りの基礎、 プレゼンテーションの基礎を学ぶ 銀座三愛(元㈱Ai)にて商品企画、マーチャンダイザーを担当。以後当校にて教員 を務め、現在校長として各授業を担当する。		
授業計画	前期	4月	ファッション学に関するオリエンテーション 「自分にとってのファッション観とは？」
		5月	ファッションを文化と捉え、ファッションを構成する4大テーマを 映像学習し、レポートを作成する
		6月	・人はなぜ装うのか？ ・世界のファッションデザイナー ・素材 ・色彩
		7月	オケージョンスタイリング(TPOの概念から対応する ベストコーディネートの提案、マップ作り)
		8月	ライフスタイリング→クラスター分析 ・衣食住+遊休知美というカテゴリーの把握から客層分類へ発展
		9月	ライフスタイリングのマップ作り プレゼンテーション
	後期	10月	
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題50% 出席率50%		

学科名	ファッションビジネス	履修年次	1
コース名	ファッションアドバイザー	単 位	2
科目名	ファッションコーディネートB	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	宇賀神 美弥子		必修 選択

授業の到達目標 及びテーマ	8大感性を学ぶ事により曖昧なファッションイメージを明確にし、他者に伝える力を養う。同時にWWDを読み解きファッションイメージを他者に伝える為の言葉のツールの増やすようにする。
------------------	---

授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・各感性のイメージ分析、マップ作成、スタイリング提案。 ・各自でWWDの中から興味のある記事を選び、言葉の意味を調べ、内容分析をしレポートを作成する。
-------	--

授業計画	前期	4月	①フェミニン イメージ分析、マップ作成、スタイリングの提案
		5月	②マニッシュ イメージ分析、マップ作成、スタイリングの提案
			③スポーティブ イメージ分析、マップ作成、スタイリングの提案
		6月	④エレガンス イメージ分析、マップ作成、スタイリングの提案
			⑤エスニック イメージ分析、マップ作成、スタイリングの提案
		7月	⑥モダン イメージ分析、マップ作成、スタイリングの提案
		8月	⑦クラシック イメージ分析、マップ作成、スタイリングの提案
		9月	⑧アバンギャルド イメージ分析、マップ作成、スタイリングの提案
	後期	10月	
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
----------	-----------------

評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題80% 出席率15% 授業態度5%
------	--------------------------------------

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	1
コース名	ブランドMD	単 位	4
科目名	デザイン画	授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	北澤 春江	(必修)	選択
授業の到達目標 及びテーマ	デザイン画を習得し、人体のバランス及びウェアの特徴を理解する		
授業の概要	ノードプロポーションの基礎から応用までを描く デザインディテールを理解し、デザイン画として表現する <div style="background-color: yellow; padding: 5px; margin-top: 5px;"> ミカレディ(株)、(株)一珠、(株)ジョゼにてファッション衣料の企画、デザインを担当していた。以後当校で長年デザイン画を教授している。 </div>		
授業計画	前期	4月	授業予定や目標、デザイン画の役割
		5月	ノードプロポーションの基礎
		6月	ノードプロポーションの応用
		7月	部分練習 顔、手、足
		8月	着装プロポーション
		9月	着装プロポーション
		10月	ファッション誌の写真模写
	後期	11月	マテリアルの描き方
		12月	マテリアルを活かしたデザイン画
		1月	トレンドスタイルからテーマを選んだデザイン画
		2月	トレンドスタイルからテーマを選んだデザイン画
		3月	
		3月	
	教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する	
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50% 課題50%		

学科名	ファッションビジネス	履修年次	1		
コース名	ファッションアドバイザー	単 位	4		
科目名	造形デザイン	授業期間	前期 後期 通年		
担当教員名	西條 綾子	必修	選択		
授業の到達目標 及びテーマ	限られた条件の中でアイデアを膨らませ形にする制作を通じ、自分の個性を伸ばし伝えたいイメージを的確に表現できるようにする。 また物を正しく見るトレーニングで右脳を活性化し、集中して楽に正しく描けるようになる。自分の中の可能性を実感し、自信を持つ。				
授業の概要	平面における色と形による基本的な表現の基礎を学び実践する。 色の再現を通じて各自が使う色域の範囲を広げる。 対象物を様々な見方で描く実習を行い、見方と描き方の変化を検証する。				
授業計画	前期	4月	パターンデザイン	物を見るトレーニング・トレーニングの説明 トレーニング前の記録・自分の顔	
		5月	パターンデザイン	物を見るトレーニング・逆に描く すばやく見る	
		6月	パターンデザイン	ゆっくり見る 屋外デッサン	
		7月	色の模写	対象物と背景の捉え方 光と影の描き方①	
		8月	色の模写	光と影の描き方②	
		9月	ミクスドメディア コラージュ	記号化の理解とそこから逃れる方法 自分の顔・トレーニング成果の検証	
	10月	ミクスドメディア・コラージュ			
	後期	11月	ヴィジュアルブック		
		12月	ヴィジュアルブック		
		1月	デッサン		
		2月	授業のまとめ		
	3月				
	教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する			
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題提出状況 40% 課題完成度 40% 授業態度 20%				

学科名	ファッションビジネス	履修年次	1
コース名	ファッションアドバイザー	単 位	4
科目名	服飾美学(素材学、ビューティー、服装史)	授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	門馬 よし子/小幡 賢二/大宮 恵理	(必修)	選択

授業の到達目標 及びテーマ	(素材)洋服を制作する際に必要な素材の特徴、基本的な布地名、クリーニング法、被服の保管・加工法などの勉強。(ビューティー)ファッション業界でのスタイリスト、メイクアップアーティストの仕事と役割、世界観を学ぶ。(服装史)服装の成り立ちから現代のファッションデザインソースへの創造力の育成、服飾基礎理解と固定概念からの脱却。
授業の概要	(素材)洋服を具体的な形にするための知識とそれをどのような素材で制作するか等の性質の特徴を習得する。(ビューティー)在仙で活躍するスタイリスト、メイクアップアーティストがテーマに合わせたテクニックを披露する。(服装史)海外ファッションと日本のファッションの関わりを理解。 大宮恵理：㈱ジュン、イギン㈱、㈱リーガルマインドを通してパタンナー、デザイナー、そしてライセンスコーディネーターとして活躍していた。

授業計画	前期	4月	繊維の種類と特徴と分類(素材)
		5月	天然繊維の知識・動物繊維の知識(素材) 2019年春夏メイクトレンド&トータルコーディネート(ビューティー)
		6月	羊毛についての知識・化学繊維の知識(素材) 2019年ブライダルビューティー学(ビューティー)
		7月	基本的な布地の名称・織物の三原組織(素材)
		8月	プリント柄の分類及び名称(素材)
		9月	ストライプ&チェック柄の名称(素材) 2019年秋冬メイクトレンド&トータルコーディネート(ビューティー)
	後期	10月	服地の表裏・たて・よこの見分け方、燃焼による布地の鑑別法(素材) 世界服飾の流れ、ヨーロッパのファッション史Ⅰ&Ⅱ(服装史)
		11月	家庭用合成洗剤のあらまし及びクリーニング法(素材) モード産業、新しい衣服の方向Ⅰ(服装史)
		12月	被服の保管(素材)
		1月	しみの種類としみ抜き方法・加工法について(素材) 新しい衣服の方向Ⅱ、後期試験(服装史)
		2月	試験解答手交、解答説明(服装史)
		3月	

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50% レポート25% 試験25%

学科名	ファッションビジネス	履修年次	1
コース名	ファッションアドバイザー	単 位	4
科目名	色彩学	授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	相田 志	(必修)	選択

授業の到達目標 及びテーマ	色相環とトーン表を理解することで色が出来る仕組み＝混色を学ぶ 色彩調和論の基本から色から伝わるイメージを理解する 色彩検定3級合格を必達し、自主的に2級を取得する力を付ける
授業の概要	色彩の基本を理解し、配色の基本、カラーが伝えるイメージを理解する。 アパレルにおけるカラーの重要性を理解し、色によって感じ方の違いを学ぶ。 (例)オンワード樫山の営業、バイヤー、VMDとして活躍した後、office i代表として人材育成に勤む講師がファッション業界の様々な知識を教授する。

授業計画	前期	4月	2019SS、AWコレクションよりトレンドカラーを知る。
		5月	PCCSの色相環とトーン表を理解する 絵具を使って混色を実践。色はどうやってできるのか？
		6月	色相環とトーン表より色の特性を学ぶ 色の持つイメージを理解する
		7月	光と色 色はなぜ見えるのかという科学的な根拠を学ぶ 目の構造と、「光、物体、視覚」の関係
		8月	色の三属性 色の視覚的効果
		9月	色の視覚的効果と知覚的効果 色相、トーンからの配色
	後期	10月	ファッション、インテリアにおける色彩 3級検定対策問題
		11月	3級検定対策問題 試験後は2級基礎～マンセル表色系
		12月	JISの色名と系統色名 ナチュラルハーモニーとコンプレックスハーモニー
		1月	自然から学ぶ色彩 配色技法応用
		2月	光の性質と色 照明の知識
		3月	

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
----------	-----------------

評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50%、課題提出25%、期末試験25%
------	---

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	1
コース名	ファッションアドバイザー	単 位	4
科目名	ファッション販売	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	相田 志		必修 選択
授業の到達目標 及びテーマ	接客のマナーやアパレルに基礎知識を学ぶことで、販売スタッフの役割とアパレル業界全体を知る。トレンド情報を始めとして情報収集能力を身に付ける。ファッション販売能力検定3級取得。		
授業の概要	素材、アイテムの知識など、現在の販売スタッフに不可欠な専門知識を学ぶ。 ITが進化する中、実店舗の販売スタッフの役割を理解する。VMDの基本理解。 (株)オンワード樫山の営業、バイヤー、VMDとして活躍した後、office i代表として人材育成に勤しむ講師がファッション業界の様々な知識を教授する。		
授業計画	前 期	4月	洋服が出来るまで。アパレル流通の流れを知る。 2019トレンド情報から実店舗のトレンドを理解する。
		5月	ファッション業界における職種と販売という仕事の役割。 販売の基礎知識と社会人としてのマナー。
		6月	小売店の業種と業態。小売店の種類。 SPA、OEM、ODMなど現在の物づくりの仕組み
		7月	提案できる販売スタッフになるために必要な知識。 AIDMAの法則から販売スタッフの行動を理解する。
		8月	ライフスタイル提案型ショップとSPAの台頭。 服飾雑貨、インナーの基礎知識
		9月	アイテムの知識 洗濯表示
	後 期	10月	素材の基礎知識と、お手入れの方法 店舗運営の基本
		11月	VMDの基礎知識 マーチャンダイジングの基礎知識
		12月	ファッション業店舗のマーケティングの基本 販売業務と付帯業務
		1月	ファッション販売検定2級対策として用語の整理 2020SS、AWトレンド情報からトレンド予測
		2月	キャリアプラン。職種と役割を知る ファッション販売売力検定2級対策基礎
		3月	
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50%、課題提出25%、期末試験25%		

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	1		
コース名	ファッションアドバイザー	単 位	4		
科目名	ファッションビジネス能力検定 3級	授業期間	前期 後期 (通年)		
担当教員名	村上 智子	(必修)	選択		
授業の到達目標 及びテーマ	現在のファッションビジネスは服に留まらず、私達のライフスタイルや社会と繋ったビジネスとして成り立っているという考えの基礎を習得し、合格を目指す。				
授業の概要	<p>ファッションビジネスに於ける様々な職種、全体的な仕事の流れ、業態などの基礎知識を習得。また、作り手・売り手の立場に立った商品やサービスの在り方を学ぶ。</p> <p>(株)クレセントにてレディースカジュアルウェアの企画職を経験し、(株)織維リサーチにてファッションに関するトレンド、商品や消費者リサーチ、分析を行っていた講師がデザイン基礎を教える。</p>				
授業計画	前期	4月	オリエンテーション 講義概要の説明、年間内容の説明		
		5月	ファッションビジネスの概要 ファッションビジネスの特性について		
		6月	ファッションビジネスの変遷 時代の流れとファッションの繋がり		
		7月	ファッション産業と職種について ファッション産業の構造、アパレル企業/小売企業の業態など		
		8月	ファッションと消費者 ファッション商品の購入に至るまでの心理・行動・ライフスタイル		
		9月	ファッションと消費者 / ファッションマーケティング マーケティング基礎知識、市場調査		
		10月	ファッションマーチャンダイジング アパレル企業、アパレル小売企業の商品計画基礎知識		
	後期	11月	ファッション流通/ビジネス知識 流通の役割と機能内容/会社の特性、会計など		
		12月			
		1月			
		2月			
		3月			
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
		評価方法	<p>A～D・E 評価</p> <p>評価基準：出席率・授業態度・課題提出状況 50% 課題評価 50%</p>		

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	2
コース名	ファッションアドバイザー	単 位	4
科目名	ワーク	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	西條 綾子		必修 選択
授業の到達目標 及びテーマ	ゼミナールで実施する学内・学外実習の準備として、制作と個人指導を行う		
授業の概要	学外オリジナルショップの準備・制作 学校見学会オリジナルブランドプレゼンテーション&ショーの準備・制作 卒業制作学内審査・学外発表の準備・制作		
授業計画	前 期	4月	学外オリジナルショップの準備・制作
		5月	〃
		6月	学校見学会オリジナルブランドプレゼンテーション&ショーの準備と制作
		7月	〃
		8月	卒業制作学内審査の準備・制作
		9月	〃
	後 期	10月	〃
		11月	〃
		12月	〃
		1月	卒業制作学外発表の準備・制作
		2月	〃
		3月	
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題提出状況50 出席状況50		

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	1
コース名	ファッションアドバイザー	単 位	4
科目名	ショップVMD	授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	佐々木 美穂	(必修)	選択

授業の到達目標 及びテーマ	VMDの役割、基礎知識の習得を目標とする。
授業の概要	<p>VMDの効果と仕組みを学び、什器の配置やレイアウト、商品陳列などの習得を目標とする。</p> <p style="background-color: yellow;">ディスプレイデザインのキャリアと積み、現在フリーのデコレーターとして活躍する傍ら、本校のディスプレイ指導にあたる。</p>

授業計画	前 期	4月	リアル店舗の役割について学ぶ
		5月	VMDの必要性、VP・IP・PPについて学ぶ
		6月	商品陳列とカラー展開を学ぶ
		7月	マネキン、トルソー、什器の種類を学ぶ
		8月	
		9月	レイアウトや同線について学ぶ
	後 期	10月	POPによる効果を学習し、POPを制作
		11月	ショップをイメージしたショーウィンドウ制作
		12月	ゴールドスペース、照明について学ぶ
		1月	商品の撮影方法を学ぶ
		2月	VP・IP・PPの演習を行いながら年間学習を総括
		3月	

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
----------	-----------------

評価方法	<p>A～D・E 評価</p> <p>評価基準：出席率40 課題20% 授業態度20% 実技20%</p>
------	---

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	1
コース名	ファッションアドバイザー	単 位	4
科目名	パソコンワーク	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	西條 綾子		必修 選択
授業の到達目標 及びテーマ	マッキントッシュPCの基本操作と、グラフィックデザインの代表的なソフトである「イラストレーター」の基本的な機能を使って、簡単なグラフィックと、Imovieを使って簡単な動画編集が出来るようになる事を目指す。		
授業の概要	<p>「イラストレーター」の基本的な機能の説明</p> <p>レイアウトの基礎を学び実践する。</p> <p>テーマを決めて動画の編集を行う。他者の作品についても全体で合評会を行う。</p>		
授業計画	前 期	4月	授業の説明 名刺のデザイン
		5月	カードデザイン 地図のデザイン
		6月	フライヤーデザイン（レイアウト演習）
		7月	フライヤーデザイン（レイアウト演習）
		8月	アイロンプリント
		9月	前期まとめ・実技試験
	後 期	10月	スライドショー制作
		11月	ZINEの制作（制作過程も記録）
		12月	
		1月	
		2月	↓
		3月	1年間のまとめ
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	<p>A～D・E 評価</p> <p>評価基準：課題提出状況40% 課題完成度40% 授業態度20%</p>		

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	1
コース名	ファッションアドバイザー	単 位	2
科目名	接客英語	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	菅野 麻那		必修 選択

授業の到達目標 及びテーマ	ファッション業界における英語の必要性を理解し、実践することで、英語学習への興味を引き出す
授業の概要	<p>ファッション業界での英語の必要性を理解した上で、ロールプレイングを行いながら基本のフレーズを覚える、簡単な文法の解説もし、自分でも文章を組み立てられるように</p> <p style="background-color: yellow;">(株)ユニクロ、三越伊勢丹ホールディングス(株)、大東企業(株)にて接客を経験、TOEICスコア890をマークした経験をもつ講師が、ファッション業界で使える英語フレーズ、英会話の基礎を教える。</p>

授業計画	前 期	4月	
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	
	後 期	10月	ファッション業界での英語 ファッション業界で使う英単語、熟語
		11月	ロールプレイング リスニング練習
		12月	ロールプレイング リスニング練習
		1月	ロールプレイング台本制作 グループ発表(寸劇)
		2月	英文法解説 試験
		3月	

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	<p>A～D・E 評価</p> <p>評価基準：出席率30% 授業態度20% 試験50%</p>

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	2
コース名	ファッションアドバイザー	単 位	14
科目名	オープン実習	授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	各学科担当者、講師		(必修) 選択
授業の到達目標 及びテーマ	外部講師を招いての特別講義で社会のニーズと専門知識を学ぶ。学生個々やグループでの作品制作を通じて各自の個性を伸ばし、協調性を養う。学外実習や見学を通じ社会のしくみや繋がりを経験する。		
授業の概要	学外講師を招いての特別講義・ワークショップ 学外実習のための準備と制作 企業や文化施設、展示会等の見学、実習 (株)アングローバル プレス、日本毛皮教会理事、ミシンメーカー営業、(株)ユニクロ、(株)三越伊勢丹ホールディングス 人事部、(株)AZOTH代表、Ana Dapuzzoデザイナー、Hanaemori Manuscritデザイナー、		
授業計画	前期	4月	対面式練習(2年) キャリア開発(2年) 校内企業説明会 コミュニケーション(1年)
		5月	ミシン・ロックミシン講習(1年) 特別教養講座(毛皮)(2年)
		6月	フリーマーケット実習(2年) 東京研修旅行(2年) 卒業生による特別講義Ⅰ
		7月	学校見学会用ファッションショー準備と制作 デザイン研究(デザイン造形学科)
		8月	アートフラワー(デザイン造形学科)
		9月	ファッションセミナー 企業研修(ファッションビジネス学科、アーツ&クラフト学科)
	後期	10月	
		11月	卒業生による特別講義Ⅱ
		12月	フォーマルファッション講座(2・3年)
		1月	ファッションイベント準備と制作
		2月	ファッションイベント本番
		3月	キャリア開発(1年)
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席状況 90% 課題(レポート等) 提出状況 10%		

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	2
コース名	ファッションアドバイザー	単 位	4
科目名	服飾造形	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	阿部 瑠璃子		必修 選択

授業の到達目標 及びテーマ	人に見せられる作品制作技術の習得。		
授業の概要	リメイク作品制作。 <div style="background-color: yellow; padding: 5px; border: 1px solid black; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 宮城ドレスメーカー専門学校にて教員を経験したのち、総合学園ヒューマンアカデミー(株)にて非常勤講師として縫製を教授していた講師が担当する。 </div>		

授業計画	前期	4月	リメイク作品制作
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	▼
	後期	10月	
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題、実技60% 出席率20% 授業態度20%

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	2
コース名	ファッションアドバイザー	単 位	20
科目名	ゼミナール	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	菅野 敦子/西條 綾子/阿部 瑠璃子	必修	選択
授業の到達目標 及びテーマ	ファッションビジネスまたはアート出店への実学。		
授業の概要	フリーマーケット出展企画を通して、出店の仕組みを学ぶ。卒業制作としてオリジナルブランドを企画、制作をし、ファッションセンスや縫製技術を向上させる。 <div style="background-color: yellow; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 銀座三愛(元A1)にてファッショングッズの商品企画、マーチャンダイザーを担当。以後当校にて教員を務め、現在校長として各授業を担当する。 </div>		
授業計画	前期	4月	フリーマーケット実習
		5月	オリジナルTシャツ制作 委託商品の募集
		6月	企画から制作、仕入れ、管理、販売の流れを学ぶ
		7月	私の世界観(夏季課題)
		8月	リアルマーケティングリサーチ
		9月	卒業制作の企画概要
	後期	10月	卒業制作
		11月	↓
		12月	▼
		1月	ファッションイベントに向け、作品のブラッシュアップ
		2月	
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率25% 課題25% 授業態度25% 実技25%		

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	2
コース名	ファッションアドバイザー	単 位	4
科目名	ショッププロデュース	授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	浅野 喜幸	(必修)	選択

授業の到達目標 及びテーマ	自分の理想とするショップ像の確立。 自店の強み(武器)を伸ばす。
授業の概要	自身の求める理想の明確化と現実の比較。ショップ運営のリアルを体験する。 深める。 仙台市内にてICONZというセレクトショップを運営する講師。ICONZは洋服だけでなく人のライフスタイルの中で大切なものを提案するセレクトショップであり、その経営から得た知識、ノウハウを伝授する。

授業計画	前 期	4月	自己分析と理想の自店イメージ
		5月	ストアコンパリゾン(店舗調査) 色の影響
		6月	業態分析
		7月	マーチャндаイジングとは
		8月	仕入れと販売
		9月	自店(自分自身)の強みを明確化する
	後 期	10月	ショップコンセプトの確立
		11月	販売力、販売ロールプレイング、売り場づくり
		12月	販売力、販売ロールプレイング、売り場づくり
		1月	ショップの運営について
		2月	
		3月	

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率30% 課題30% 実技40%

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	2
コース名	ファッションアドバイザー	単 位	4
科目名	ショップコーディネート	授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	山本 佳美	必修	(選択)
授業の到達目標 及びテーマ	ショップコーディネートの基礎を学び、 インテリアプレゼンテーションの技術を身につける		
授業の概要	インテリアを構成する環境や材料についての基礎を学ぶ。空間に対する寸法感覚を養い、インテリアデザインの独創性を身につける。 三井、住友、野村等、マンションのインテリアデザインやモデルルーム等、住まいのデザインを仕事とする教員が担当する。		
授業計画	前期	4月	インテリアの構成 内素材
		5月	インテリアの構成 窓装飾
		6月	インテリアの構成 照明
		7月	インテリアの構成 家具
		8月	インテリアの構成 スタイル
		9月	インテリアの構成 レイアウト
	後期	10月	インテリアプレゼンテーションの技法 平面図
		11月	インテリアプレゼンテーションの技法 展開図
		12月	インテリアプレゼンテーションの技法 パース①
		1月	インテリアプレゼンテーションの技法 パース②
		2月	インテリアプレゼンテーションの技法 プレゼンテーションの種類と方法
		3月	プレゼンテーションボードの作成と完成発表
		3月	
	教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する	
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50% 課題提出(完成度・提出有無)50%		

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	2
コース名	ファッションアドバイザー	単 位	4
科目名	アイテム企画	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	北澤 春江		必修 選択
授業の到達目標 及びテーマ	ファッションビジネスとしてのテーマを追求し、アイテム画として構成していく		
授業の概要	アイテムそれぞれの特徴とディテールを理解し、描く テーマに沿ったアイテム画を素材も考慮したバリエーションとして考える <div style="background-color: yellow; padding: 5px; margin-top: 5px;"> ミカレディ(株)、(株)一珠、(株)ジョゼにてファッション衣料の企画、デザインを担当していた。以後当校で長年デザイン画を教授している。 </div>		
授業計画	前期	4月	授業予定と目標、アイテム画の役割
		5月	テーマ、ブランドやショップの方向性、シーズン、素材を決める
		6月	イメージ写真の収集、デザインのラフ画作成
		7月	素材別のデザインバリエーションをアイテム画で構成する
		8月	イメージ写真とアイテム画をボードに構成する
		9月	テーマはコンセプトを文字で構成し、まとめる
	後期	10月	
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50% 課題50%		

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	2
コース名	ファッションアドバイザー	単 位	4
科目名	デザイン画	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	北澤 春江		必修 選択
授業の到達目標 及びテーマ	デザイン画のレベルを上げ、様々なファッションビジネスシーンで活かしていく		
授業の概要	テーマに沿ったデザイン画を描けるようにする デザインバリエーションの演習 <div style="background-color: yellow; padding: 5px; margin-top: 5px;"> ミカレディ(株)、(株)一珠、(株)ジョゼにてファッション衣料の企画、デザインを担当していた。以後当校で長年デザイン画を教授している。 </div>		
授業計画	前期	4月	テキストを使用し、カテゴリー別のデザイン画の練習
		5月	テキストを使用し、カテゴリー別のデザイン画の練習
		6月	デザインコンテストへの参加
		7月	素材表現のテクニック
		8月	個性、方向性に沿ったデザイン画
		9月	個性、方向性に沿ったデザイン画
	後期	10月	卒業制作に向けてのデザイン画考案
		11月	卒業制作のデザイン画バリエーション
		12月	卒業制作のデザイン画バリエーション
		1月	卒業制作のデザイン画バリエーション
		2月	修了課題
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50% 課題50%		

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	2
コース名	ファッションアドバイザー	単 位	6
科目名	ファッション販売Ⅱ	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	相田 志		必修 選択
授業の到達目標 及びテーマ	ファッション業界の現状と今後を理解することでアパレル業界を知る。 資格を取る為の勉強から資格を取ることの意味を考え達成感を得る。 ファッション販売能力検定2級取得。		
授業の概要	IT社会が拡大する中で、即戦力となる販売力と、コミュニケーション能力を身に付ける。今後必要な情報収集の方法を理解する。 (※)オンワード樫山の営業、バイヤー、VMDとして活躍した後、office i代表として人材育成に勤しむ講師がファッション業界の様々な知識を教授する。		
授業計画	前期	4月	実店舗における販売スタッフの役割 ネットショップとの差別化を図る為に必要なコミュニケーション
		5月	情報収集の方法と活用方法
			情報誌、専門紙からトレンドを予測する
		6月	お客様が求めている販売員とは何かを会話を通して理解する タイプ別コーディネート提案
		7月	ライフスタイル提案ショップ 服飾雑貨の知識
		8月	クレームの発生原因と未然に防ぐ方法 クレームが発生した時の対処方法
	後期	9月	衣服のお手入れの知識。洗濯表示 素材、アイテムの知識
		10月	配色の知識と色から伝わるイメージ TPOとカラーコーディネーション
		11月	副資材の知識、サイズの知識 VMDと売場づくり
		12月	マーケティングの知識 月別MDの手法
		1月	
		2月	
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50%、課題提出25%、期末試験25%		

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	2
コース名	ファッションアドバイザー	単 位	4
科目名	ファッションビジネス能力検定 2級	授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	相田 志	(必修)	選択
授業の到達目標 及びテーマ	アパレルメーカーの物づくりの手順を理解することで、ファッション・ ビジネス全体の流通を理解する。現状のファッション業界を知る。 ファッションビジネス検定2級合格		
授業の概要	世界各国のファッションの歴史、日本のファッションビジネスの変遷を学ぶ。ターゲット、マーケ ティングを理解することで商品が出来るまでの流れを理解する。トレンド情報の収集力を身に付け る。素材、アイテムの専門知識を学び実践に役立つ知識を身に付ける (株)クレッセントにてレディースカジュアルウェアの企画職を経験し、(株)織維リサーチにてファッションに 関するトレンド、商品や消費者リサーチ、分析を行っていた講師がデザイン基礎を教える。		
授業計画	前期	4月	世界のファッション史の変遷を理解する。 アパレルにおける創・工・商の役割を学ぶ。
		5月	各年代ごとの時代とファッションの関連を学ぶ。 ファッション産業構造。アパレル業界の産業と取り巻く環境を知る。
		6月	小売企業の変遷と今後のファッション業界の方向性を予測する。 形態別商品企画とSPAについて学ぶ。
		7月	現在のアパレルメーカーの物づくりの手法。 アパレルメーカーの本来の物づくりからOEMとODMへの変化の理由
		8月	社会背景や経済状況と商品動向の変化。 ファッション情報の収集・分析・予測の重要性。
		9月	ファッションアパレル流通戦略。 アパレル営業とチャネル管理
	後期	10月	販売管理とプロモーション戦略。 素材の知識、ディティールの知識、アイテムの知識。
		11月	アパレルマーチャンダイジングと商品企画段階を学ぶ。 シーズンMD、月別MD計画から商品仕入計画とトレンド予測。
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50%、課題提出25%、期末試験25%		

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	2
コース名	ファッションアドバイザー	単 位	2
科目名	ショップVMD	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	佐々木 美穂		必修 選択
授業の到達目標 及びテーマ	VMDの基礎知識を広げ、店舗に活かせる技術力を目指す。		
授業の概要	VMDを理解し、VP・PP・IPの演習、ショーウィンドウの制作を行いながら店舗におけるVMDの必要性を習得する。 ディスプレイデザインのキャリアと積み、現在フリーのデコレーターとして活躍する傍ら、本校のディスプレイ指導にあたる。		
授業計画	前 期	4月	4W2H(ディスプレイ)計画を学ぶ
		5月	VP・PP・IPの演習
		6月	アイテム別の畳方、商品陳列の演習
		7月	ショップをイメージしたショーウィンドウ制作
		8月	
		9月	ショップVMDの演習を行いながら年間学習を総括
	後 期	10月	
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率 40% 課題20% 授業態度20% 実技20%		

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	2
コース名	ファッションアドバイザー	単 位	16
科目名	パソコンワーク	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	西條 綾子	必修	選択

授業の到達目標 及びテーマ	1年次に学んだ基本をふまえ、卒業制作に向けて、各自のテーマに沿った実践的なグラフィックデザインの制作と、より完成度の高い動画編集が出来るようになる事を目指す。
授業の概要	「イラストレーター」のより高度な機能の説明 店舗、イベント等で使用されるグラフィックデザインの制作 学科紹介の動画編集 卒業制作における各自の企画書・プレゼン用動画の制作

授業計画	前 期	4月	授業の説明 学科紹介のムービー制作（コンセプトから制作まで）
		5月	↓
		6月	↓
		7月	店舗のグラフィックデザイン（コンセプトから制作まで）
		8月	↓
		9月	卒業制作企画書・資料集
	後 期	10月	↓
		11月	卒業制作プレゼン用動画制作
		12月	↓
		1月	卒業制作発表会用グラフィック・動画の制作
		2月	1年間のまとめ
		3月	

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題提出状況40% 課題完成度40% 授業態度20%

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	2
コース名	ファッションアドバイザー	単 位	2
科目名	キャリア開発	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	菅野 麻那		必修 選択

授業の到達目標 及びテーマ	就職活動や進路決定への不安を取り除き、全員が進路決定出来る様サポートする
授業の概要	<p>面接練習、グループディスカッション対策を行い、就職活動への恐怖心を和らげる。就職支援だけでなく、社会人としての教養も養い、卒業へ向けての準備をさせる</p> <p style="background-color: yellow; padding: 5px;">(株)ユニクロ、三越伊勢丹ホールディングス(株)にて人材育成を担当した教員が就職活動のノウハウを教授する。</p>

授業計画	前 期	4月	履歴書の書き方 受かるエントリーシートとは
		5月	敬語の使い方 適性検査対策 (SPI,一般常識問題) 集団面接対策
		6月	グループディスカッション対策 個人面接対策
		7月	グループディスカッション対策 個人面接対策
		8月	お金に関する学習 (クレジットカード、各種保険、年金、税金、生活費等)
		9月	将来のキャリア形成について (人生設計、卒業後の目標)
	後 期	10月	
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率100%

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	2
コース名	ファッションアドバイザー	単 位	4
科目名	卒業制作	授業期間	前期 (後期) 通年
担当教員名	菅野 敦子		必修 選択

授業の到達目標 及びテーマ	卒業制作を悔いのないものにし、学生生活の集大成とする。学内テーマと個人テーマを追求し、メッセージ性の強い作品を作りあげる。
授業の概要	卒業制作作品のテーマ設定、作品制作、企画書・資料集の作成、プレゼンテーション準備 銀座三愛(現株Ai)にて雑貨の商品企画、マーチャンダイザーを担当。以後当校にて教員を務め、現在校長として各授業を担当する。

授業計画	前 期	4月	
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	
	後 期	10月	卒業制作準備
		11月	卒業制作準備
		12月	卒業制作準備 評価1
		1月	ファッションイベント準備 評価1を受けて修正
		2月	ファッションイベント準備 発表
		3月	

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率20% 課題40% 授業態度40%